

2017年8月8日

課題名： 高齢同種造血幹細胞移植患者の移植前後の運動機能と特性について

◆研究の目的と概要◆

同種骨髄移植患者さんに対するリハビリテーションの必要性については周知されてきており、また高齢者に対しての同種骨髄移植治療も進歩を続けています。その中で、リハビリテーションとして移植患者さんに必要な運動機能について検討し、移植治療に向けてまた移植後の自宅退院を見据えてこれまでの移植患者さんから特性を調査します。

◆対象となる患者さん◆

2013年3月から、2017年3月までの間に、当院にて同種造血幹細胞移植治療を受けた55歳以上の方

◆研究に使用される情報・試料◆

移植時年齢、移植前6分間歩行距離、利き手握力、片脚立位時間、移植前KPS、移植後退院時6分間歩行距離、移植種類、リハビリ介入～移植までの期間、移植～退院までの期間、HCT-CIスコア(移植前の全身状態と合併症を点数化)

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 内部障害リハ室 研究責任者 亀井 ゆかり

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明